

平成19年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成19年4月12日	記入者		連絡先	3112
平成18年度部名	都市部	課名	駐車場対策課	課長名	大貫守
平成19年度部名	まちづくり事業部	課名	駐車場対策課	課長名	西丸三千則
事務事業名	相模大野立体駐車場管理運営費				
予算上の事務事業名	相模大野立体駐車場管理運営費(本課分・指定管理者委託分)				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32410		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第4節 自動車・自転車駐車対策の推進				
施策名	第1施策 自動車駐車対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市営自動車駐車場条例・施行規則・道路法・道路整備特別措置法・駐車場法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市駐車場整備計画		将来の駐車需要を予測し、官民の適切な役割分担のもとに総合的な駐車対策を行うための駐車整備のマスタープラン		
計画年次	昭和61	年度～	年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
中心市街地や駅周辺における交通渋滞の原因になっている路上駐車解消を図ることなどにより、円滑な都市交通を確保し、市民の利便性の向上並びに都市機能の維持及び増進に寄与するため、公共駐車場の運営を行うもの。 平成18年度から指定管理者制度			(2) 対象(誰、何)		
			不特定多数の者が直接的に利用する一般公共の用に供する駐車場のため、対象者は特定しない。		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
駐車場の概要		料金 基本料金 四輪 30分までごとに150円			
供用開始 昭和63年11月1日		二輪 1日1回500円			
収容台数 自動車800台 二輪自動車62台		夜間料金 1回1,000円			
構造 地下1階地上5階		定期駐車 全日20,000円			
形態 スパイラル方式		平日・土曜日16,500円			
平成18年1月～		平日13,500円			
二輪自動車の定期駐車枠増加(24台増)実施					
利用状況(平成18年4月～19年2月)					
利用台数 565,217台		料金収入 325,508,440円			
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
厚木市 最初の30分160円 以後30分ごと150円 夜間1500円					
藤沢市 最初の1時間350円 以後30分ごと170円 夜間1000円					
海老名市 最初1時間300円 以後30分ごと100円 夜間1000円					
町田市 最初1時間300円 以後30分ごと150円 夜間1600円					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	148,948	131,124	127,301	122,972	122,972
一般財源	6,706	6,512	6,091	5,951	5,951
受益者負担金	142,224	124,599	121,196	117,007	117,007
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,070	6,038	6,038	5,032	5,032
事業コスト合計	157,018	137,162	133,339	128,004	128,004
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	相模大野立体駐車場管理運営事業			対象名称 と単位	1日当たり管理運営費
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	157,018	137,162	133,339	128,004	128,004
対象数	365	365	365	365	365
単位あたり経費(円)	430,186	375,786	365,312	350,696	350,696
前年度比		0.87	0.97	0.96	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	修正回転率（回車状態が何時間続いたかを示す数値）（時間）	指標式と指標の説明	（利用台数 / 営業日数 / 収容台数）×平均駐車時間 管理運営費に対する修正回転率を目標とし運営状況を確認する		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3.2	3.5	4.0		
目標	3.2	3.5	3.5	3.5	3.5
目標達成度（%）	100.0	100.0	114.3		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	駐車場供給数（台）	指標式と指標の説明	駐車場整備計画（相模大野地区）上の目標数 （官民駐車場の合計・平成18年度以降は32年度目標）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2707.0	2707.0	2829.0		
目標	2490.0	2490.0	1890.0	1890.0	1890.0
目標達成度（%）	108.7	108.7	149.7		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		昭和63年から運営を開始し、利用効果を上げている。また、利用促進を図るための方策（定期駐車の実施・二輪車の受け入れ等）も効果あったものとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
利用者のニーズに合わせた、さらなる利用促進の導入（定額料金制度等）			指定管理者制度導入に伴う指定管理者の事業等の評価について課題		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がないが、引き続き利用促進に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			